



IRプロジェクト

阪大生の学びの実態調査

大阪大学未来戦略機構・戦略企画室

2015 DIGEST BOOK





IR (Institutional Research) プロジェクトとは？

大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、
大学の改善に役立てていくプロジェクトです。
「阪大生の学びの実態調査」では、各部署と協働しながら、
データを通じて阪大生がどのように学び、成長しているのかを
明らかにすることを目的に活動を行っています。

Contents

- IRプロジェクト×新入生 P03-04
- IRプロジェクト×「単位」 P05-06
- IRプロジェクト×図書館 P07-08
- IRプロジェクト×SERU P09-10
- IRプロジェクト×学生交流 P11-12
- IRプロジェクト×キャリア支援 P13-14

附属図書館との協働により作成

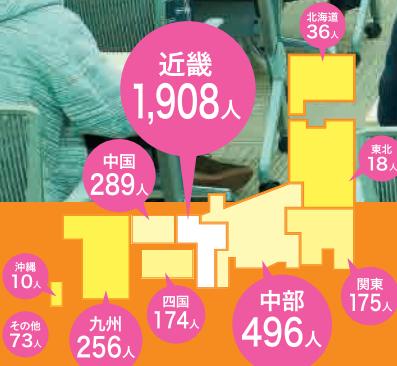
国際教育交流センター・
教育推進部学生交流推進課・
大阪大学留学生会との協働により作成

キャンパスライフ支援センター
キャリア支援ユニットとの協働により作成





隣のあのコ、
出身どこかな？



2014年度入学者の出身高校所在地

IR×新入生 出身高校を地方別に 分布してみると？

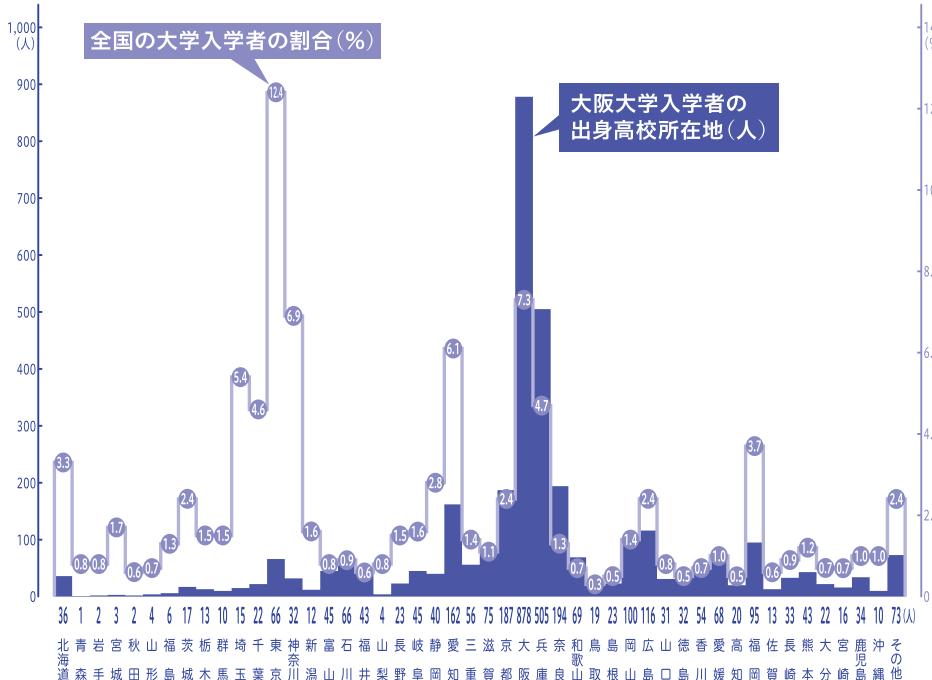


阪大 IR 新入生

IRって何？ 知りたい方は検索！

阪大生はドコから来てる？

■2014年度入学者の出身高校所在地(全国の大学入学者の割合との比較)



2014年度入学者の出身高校所在地の分布。

「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

他にも気になるデータをwebサイトで公開中！

阪大 IR 新入生

検索



大阪大学への入学者は近畿圏がメイン

2014年度入学者の分布をみると、近畿圏が占める割合が大きく、特に大阪府の割合が最も高くなっています。一方、全国の大学入学者数が最も多い東京都から大阪大学に進学した人数は、66名に留まっています。大阪を中心、東側よりも西側の地域からの入学者が比較的多いことも特徴です。

■都道府県別出身高校所在地ランキング

2人に1人が
近畿出身！

1位	大阪	878人
2位	兵庫	505人
3位	奈良	194人
4位	京都	187人
5位	愛知	162人
45位	岩手	2人
46位	秋田	2人
47位	青森	1人

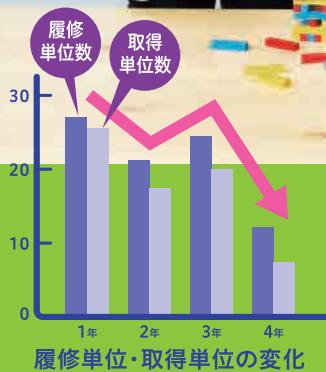
入学者層は10年前から変わらない

10年前と今の入学者分布を比較してみたのが下のグラフです。入学者の分布はここ10年間、あまり変わっていないことがわかります。



*旧大阪大学外国语大学の入学者数は含まれていません。

「単位」、どう取る？



IR × 「単位」 計画的？それとも…？

阪大生の1年次前期の平均的な履修単位数は「27単位」。大学設置基準で定められている「1単位あたり45時間の学習」に換算すると、1週間あたり81時間、土日も含めて1日当たり11.57時間の学習が必要となります。

●「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。



×「単位」

2014年前期の「単位履修状況」から、阪大生の学習スタイルを見ていきます。

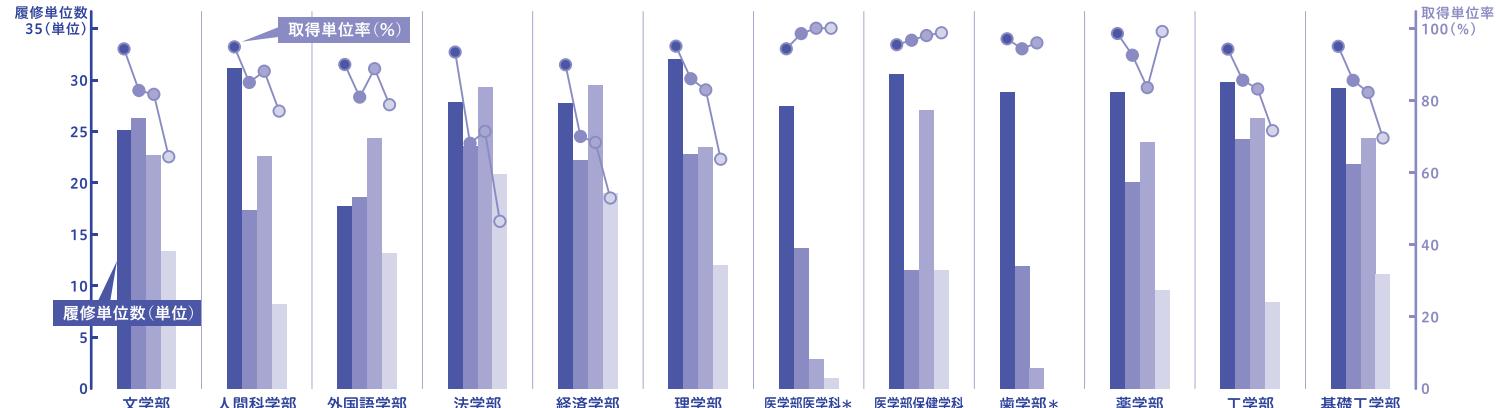
「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

他にも気になるデータをwebサイトで公開中！ [阪大 IR 単位](#)



阪大生の単位履修・取得の傾向は？

■学年別履修単位数と取得単位率(在学生:前期) ■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年



1年次に授業を詰め込む阪大生

授業の履修単位数では、阪大生は全体的に1年次と3年次において履修単位数が高くなる傾向があります。特に1年次前期の履修数は「平均27単位」と高く、これは大学設置基準で定められている「1単位あたり45時間の学習」に換算すると、1週間あたり81時間、土日も含めて1日当たり11.57時間の学習が課せられていることになります。

主体的な学習を促進するために

学生の主体的な学びを促進するような授業内容の工夫や、カリキュラム制度の見直しを行う際には、このような単位の履修状況や取得状況も意識していく必要があります。

「単位」にまつわる用語

そもそも「単位」って？

大学設置基準では、「1単位あたり45時間」の学修を必要とする内容にて構成することが求められています。1単位あたりの学修時間とは、授業時間（講義・演習の場合、15～30時間の範囲内）だけでなく、その授業の準備学修・事後の準備復習を合わせたもののことと言います。

今注目の「キャップ制」

学生が各年次において偏りなく授業を履修するよう、1年間(1学期)に履修登録できる単位数に上限を設ける制度です。予復習などの時間外学習を促進するために、キャップ制を設ける大学が徐々に増えています。

図書館が、好きです。

4月 外国学図書館
『ラーニング・コモンズ「るくす」』
6月 総合図書館
『ラーニング・コモンズ』
オープン



IR×図書館
プロジェクト

図書館ファン増加中。

●「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

●「IR×図書館」は大阪大学附属図書館との協働により作成しました。

図書館で何が
起こっているのか? 詳細は



阪大 IR 図書館

検索

IRって何? 知りたい方は検索!

入館数・貸出冊数から、阪大生の「図書館の利用」について見ていきます。

「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

他にも気になるデータをwebサイトで公開中！

阪大 IR 図書館

検索



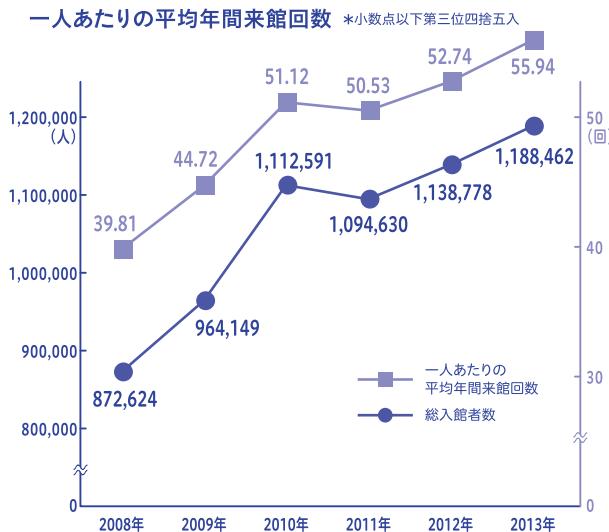
阪大生は図書館を使っているのか？

学生の図書館利用はますます盛ん 「勉強の場」として使うリピーターも多数

「最近の学生は本を読まない」「いまは電子ジャーナルばかりで、図書館なんて使わないだろう」と言う声を聞きますが、そんなことはありません。学生の図書館利用は最近、ますます盛んになっています。図書館に入館する学生の数は、ここ数年増え続けており、とくに同じ学生が何度も繰り返し利用してくれるようになったことが、数字から見て取れます。つまり、お気に入りの勉強場所として図書館を活用する学生が増えています。

■学生（学部生・院生）の総入館者数と

一人あたりの平均年間来館回数



■2013年度 年間入館回数

週1回以上図書館を利用している学生は
学部生の半分以上を占めています！

週5回以上 (年間で260回～)	学部生 368人 院生 49人
週4回 (年間で208～259回)	学部生 324人 院生 24人
週3回 (年間で156～207回)	学部生 714人 院生 71人
週2回 (年間で104～155回)	学部生 1,735人 院生 150人
週1回 (年間で52～103回)	学部生 3,853人 院生 487人
週1回以下 (年間で1～51回)	学部生 8,054人 院生 5,432人

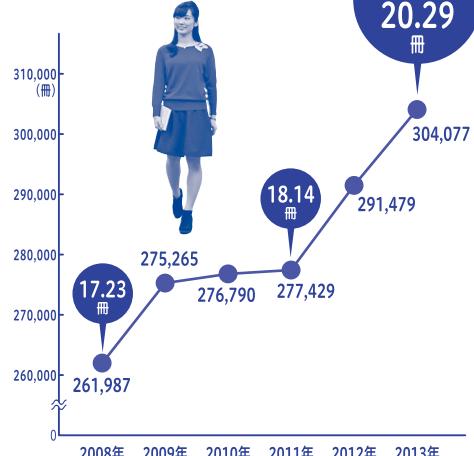
*1日1回の入館とし、授業のない期間も含めて計算した場合

「現代人の本離れ・活字離れ」 大阪大学には当てはまりません

また、世間では「本離れ・活字離れ」が騒がれていますが、大阪大学ではどこ吹く風。まったくそんな傾向は見られず、学生が図書館で借りる本の冊数は、ほぼ右肩上がり。学生1人あたりが借りた本は増加し続けています。

■学生（学部生・院生）の総貸出冊数

学生
一人あたりの
平均年間貸出冊数
20.29
冊



IRプロジェクト

阪大生の学びの実態調査

大阪大学未来戦略機構・戦略企画室



$$EB(e) = \sum_{v_i \in V} \sum_{v_j \in V} \frac{\sigma_{v_i v_j}(e)}{\sigma_{v_i v_j}}$$



勉強って、
授業だけじゃない。

$$\text{Support}, s(X \rightarrow Y) = \frac{\sigma(X \cup Y)}{N}$$

$$\text{Confidence}, c(X \rightarrow Y) = \frac{\sigma(X \cup Y)}{\sigma(X)}$$

確かこの多は…
授業で聞いたへ、

IR × SERU (学生経験調査) **2.3時間の違い。
世界と阪大生の学習習慣。**

●「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。



勉強を含めた阪大生の
時間の使い方とは? 詳細は



阪大 IR SERU

IRって何? 知りたい方は検索!



SERU:Student Experience in the Research Universityの略。研究大学に特化した国際的な学生経験調査。

2013年度に実施したSERUの結果から、阪大生の「学習」を見ていきます。

「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

他にも気になるデータをwebサイトで公開中！

阪大 IR SERU

検索



阪大生の学習時間は長い？短い？

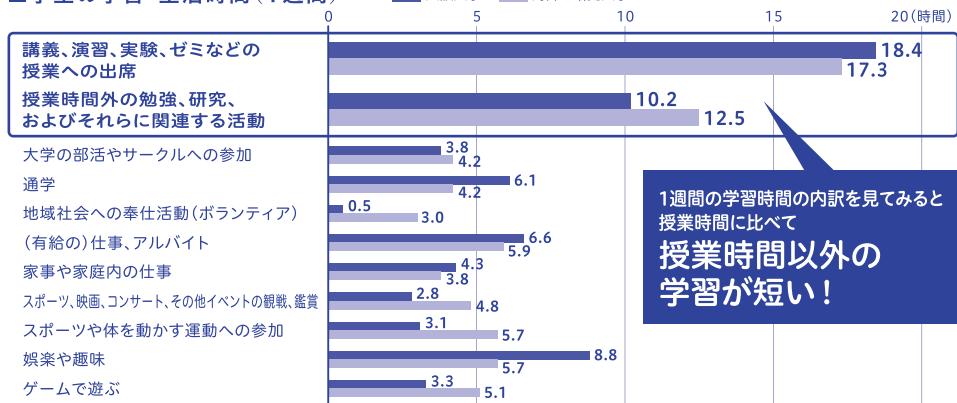
阪大生の1週間の学習時間は世界レベルの30時間

「日本の大学生はあまり勉強しない」という印象がありますが、SERU(学生経験調査)2013によると、阪大生の1週間の学習時間は「約30時間」と、世界の研究大学とほぼ変わりがありません。それではなぜ、日本の大学生は「勉強しない」というイメージがあるのでしょうか？

授業時間が長く 授業時間以外の学習が短い阪大生

トータルの学習時間の内訳を見ると、世界の研究大学に比べて阪大生は「授業時間」が1.1時間長く、代わりに自習などの「授業時間以外の学習」が2.3時間短くなっています。授業時間以外の学習は、「学生の主体的な学びの促進」における指標の1つとして、大きな注目を集めています。大阪大学では、学生の授業時間以外の学習の割合を世界水準により近づけていくために、自習スペースの拡張や授業内容・制度の見直しなど、様々な教育改革を進めています。

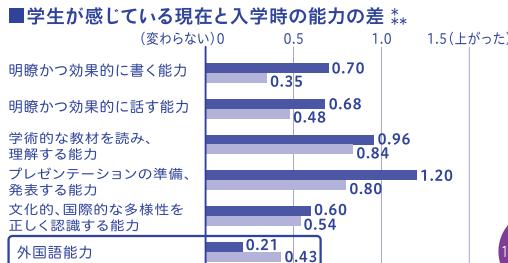
■学生の学習・生活時間(1週間)*



* SERU2013は理学部、理学研究科、経済学部、経済学研究科、博士課程教育リーディングプログラム、インターナショナルカレッジに所属する学生を対象に2013年11~12月に実施。上記のグラフは学部生のみを集計したもの。

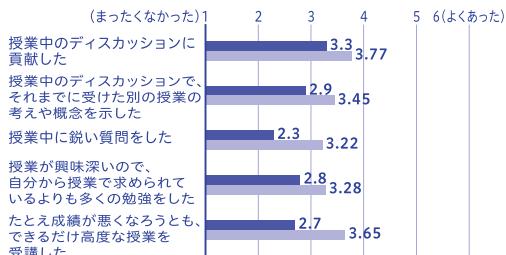
** 「現在の能力レベル」から「この大学で学び始めたときの能力レベル」を引いたもの。

学習の中でも「外国語能力」と「積極性」が課題



ほとんどの項目において、阪大生は「能力が上がった」と回答する一方で、「外国語能力」についてはあまり「上がった」と感じてはいないようです。

■授業への積極的な参加*



海外の研究大学に比べ、全体的に授業への積極的な参加があまり見られませんでした。

Study

Together at 大阪大学!



IR × 学生交流
プロジェクト

世界はグンと近く!
もっと交流していこう。

大阪大学では、留学生比率を15%（現在8%）、阪大生の1/3が卒業までに海外留学経験することを目指しています！

●「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

●「IR×学生交流」は大阪大学国際教育交流センター・大阪大学教育推進部学生交流推進課・大阪大学留学生会との協働により作成しました。

キャンパスは世界の縮図?
地域別の詳細は



阪大 IR 学生交流

検索

IRって何? 知りたい方は検索!

留学生数と派遣者数から、阪大生の「国際化」について見ていきます。

「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

他にも気になるデータをwebサイトで公開中！

阪大 IR 学生交流

検索



大阪大学から世界に羽ばたこう！

留学生が多い大阪大学 目指すは留学生15%

ここ数年、全国の留学生の数がやや下がってきてているのに対して、大阪大学の留学生の数は年々増加傾向にあります。2014年時点では、2,012人の留学生が大阪大学で学んでおり、阪大生の8%が留学生にあたります。留学生の内訳では、「大学院に正規生として在籍する」数が圧倒的に多く、また2007年頃からは短期留学生等の「非正規生」が「学部正規生」を上回っています。また、留学生の出身地域では、「正規生」ではアジアからの留学生が圧倒的に多いのに対して、「非正規生」では比較的多様な地域から大阪大学へやってきています。

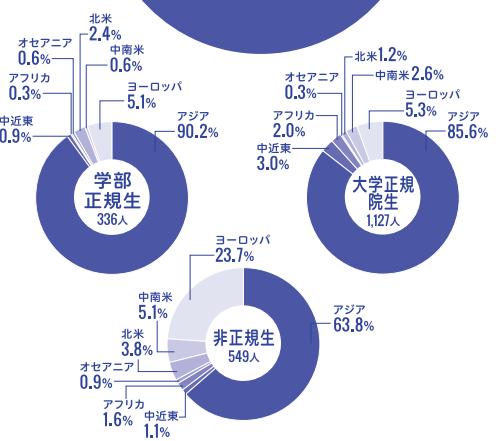
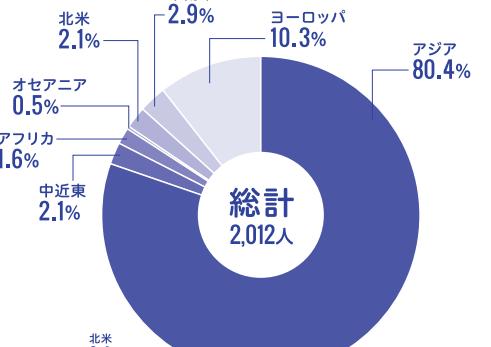
■外国人留学生数: 大阪大学と全国大学の比較



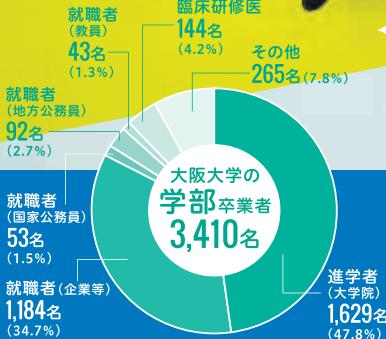
大阪大学が派遣する 学生を増やすことが課題

一方で阪大生の留学経験は、2013年の「海外留学者数」によると1,325人。内訳をみると、大学院生と学部生の海外留学者数はほぼ半々になっています。留学者数は特に大学を通じた交換留学を中心に、年々徐々に増えていますといえ、留学生の入受数と比較すると、やや少ないという結果になりました。大阪大学では現在、留学生のための様々な支援に取り組むとともに、阪大生が留学をしやすい環境を整えるための教育制度の見直しも進めています。

■2014年 大阪大学の外国人留学生内訳(地域別)



さあ! 次のステージへ。



2013年度の進路先状況

IR
プロジェクト

卒業したらどうする?
気になるみんなの進路。

- 「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。
- 「IR×キャリア支援」はキャンパスライフ支援センター・キャリア支援ユニットとの協働により作成しました。

大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」
(リクルートスーツバージョン)



就活?進学?阪大生が
考える未来とは? 詳細は



阪大 IR キャリア支援 検索
IRって何? 知りたい方は検索!

「キャリア支援」とは、就職支援を中心とした進路支援のことです。

「IRプロジェクト」は大阪大学の活動に関するデータを収集、分析し、大学の改善に役立てていくプロジェクトです。

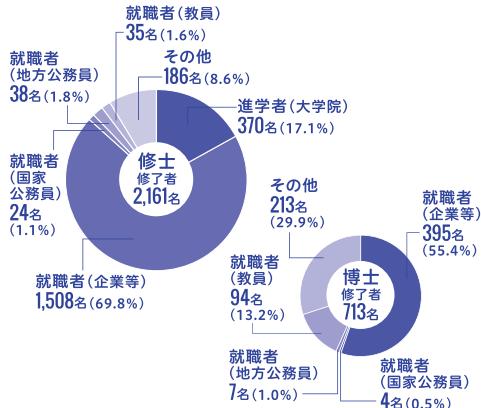
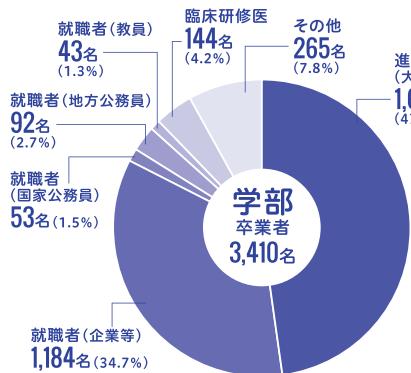
他にも気になるデータをwebサイトで公開中！

阪大 IR キャリア支援



阪大生の卒業・修了後の進路は？

■2013年度の進路先状況



進路データを見るとの注意点①

「平均値よりも部局ごとの値が重要」

大阪大学の学部卒業者の進路は、大別すると進学5割、就職4割、その他1割。しかし、これらは11学部の平均値であり、文系と理系、学部別、さらには学科・専攻・コース別に細かく分けて集計してみると、結果の円グラフは大きく変わってきます。例えば、工学部は9割弱が大学院に進学しますが、経済学部では1割弱です。修士修了者や博士修了者も同様に、研究科や分野ごとに細かく分けて集計してみると、結果の円グラフが大きく変わってきます。このように、平均値だけを見てもわからないことが多いので、部局ごとに集計することが重要になります。

大阪大学では多様なキャリア志向を持った阪大生のために、それぞれの希望に合わせたきめ細やかな支援を展開しています。

文系・理系・医歯薬系
それぞれ傾向が違います

■文系学部（外・人・文・法・経）

文系の学部（ここでは外国語学部、人間科学部、文学部、法学部、経済学部）だけで集計してみると、卒業者1,451名のうち75%の1,082名が就職、13%の196名が進学していることがわかります。

■理系学部（理・工・基）

理系の学部（ここでは理学部、工学部、基礎工学部）だけで集計してみると、卒業者1,543名のうち85%の1,316名が進学、11%の164名が就職であり、文系学部とは逆の傾向があることがわかります。

■医歯薬系学部（医・歯・薬）

医歯薬系の学部（医学部、歯学部、薬学部）だけで集計してみると、卒業者416名のうち35%の144名が臨床研修、30%の126名が就職、28%の117名が進学であり、文系とも理系とも異なる傾向であることがわかります。

